

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年08 月 08日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都中央区築地6-19-20

氏名 (株)ニチレイ・ロジスティクス関東
代表取締役社長 葛原雅人

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	(株)ニチレイ・ロジスティクス関東 代表取締役社長 葛原雅人				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市金沢区鳥浜町2番地2号				
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業			
	中分類	47 倉庫業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,199	kl	自動車の台数	台

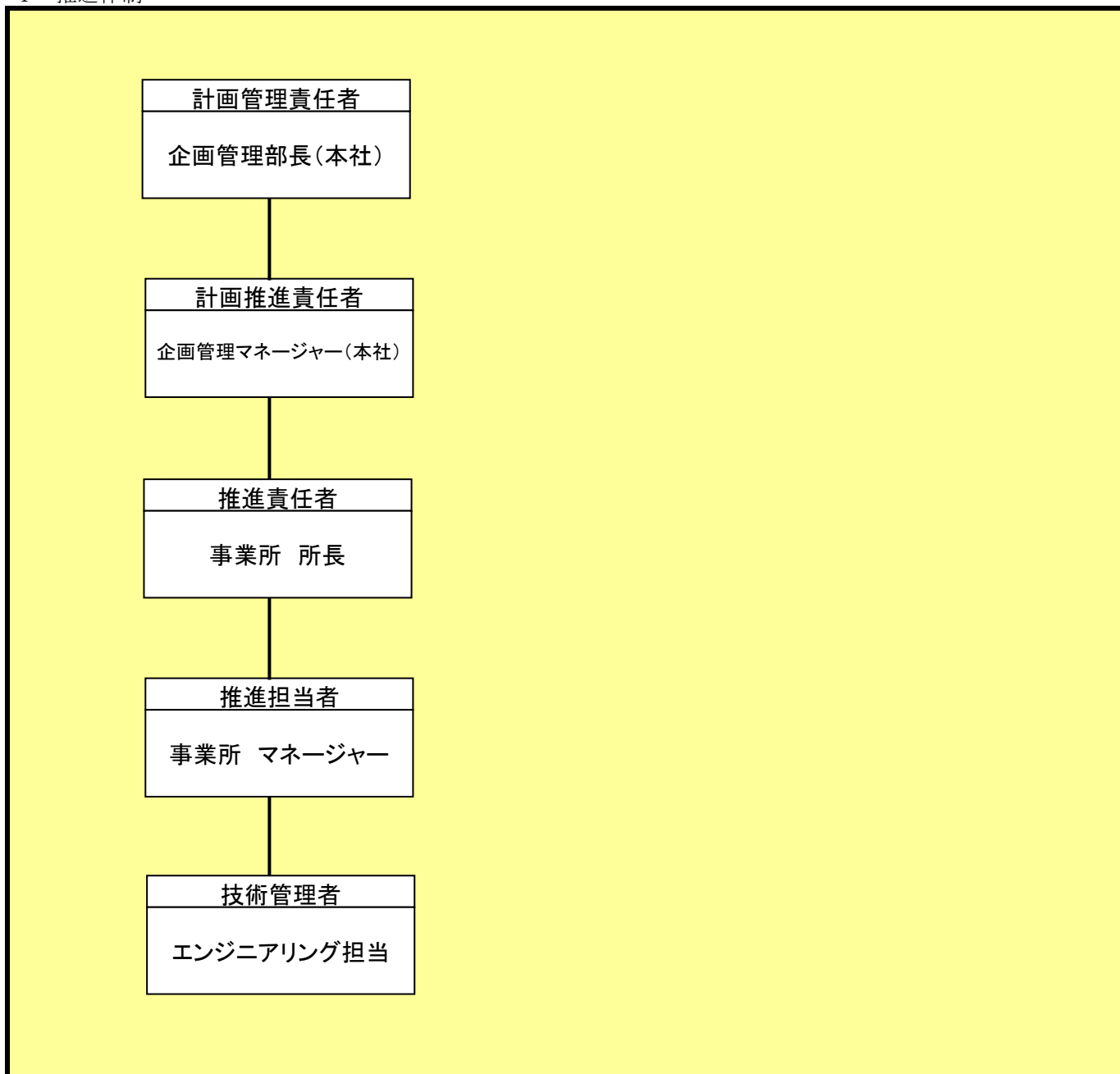
2 計画期間及び実施年度

計画期間	平成 28 年度	～	平成 30 年度	実施年度	平成 30 年度
------	----------	---	----------	------	----------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <ul style="list-style-type: none">■省資源、省エネルギーの設備更新を積極的に検討及び導入。■常に正常な設備維持・保全に努め、外気進入等の無駄なエネルギー消費を排除する。■事業所内従業員に本対策を周知、節電、節水等の継続的な意識向上を図る。■廃棄物の分別を最小項目単位に分別し、100%リサイクルを継続する。■本計画書に関しては、弊社運営施策”環境への取り組み”に付随した項目と位置付け、全従業員が体制確立及び本計画書の推進に努める。 <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 照明設備</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 約10%の削減が見込めるため</p> <p>③設備更新スケジュール 平成30年度中に全照明をLED化実施済み</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	(株)ニチレイ・ロジスティクス関東横浜南物流センター 1階事務所入口
	所在地	横浜市鳥浜町2-2
	閲覧可能時間	24時間閲覧可能
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (平成27年度)	基準排出量	3,015	t-CO ₂				基準原単位	1.73	t-CO ₂ /kwh
	調整後	2,962	t-CO ₂				目標原単位	1.70	t-CO ₂ /kwh
目標年度 (平成30年度)	目標排出量	2,950	t-CO ₂	削減率	2.2 %	目標原単位	削減率	1.7 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー消費設備の更新による電力量削減。 ■高効率冷却器, LEDの導入 ■荷捌室をLED照明に切替、電力量削減を目指す。 ・冷却設備(その他設備含む)の運転効率の向上 ■冷蔵庫室温及びデフロスト時間の適正管理 ■冷蔵庫周辺の間口を整備し、外気進入防止対策を実施する。 ■事業所内に掲示を行ない全従業員に対し、本対策の周知を実施する。 								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (平成28年度)	排出量	2,953	t-CO ₂	削減率	2.1 %	排出原単位	1.75	t-CO ₂ /kwh	
	調整後	2,872	t-CO ₂	削減率	3.0 %		削減率	▲ 1.2 %	
目標等の達成状況及び説明	冷凍機のメンテナンスを積極的に実施するとともに庫内設定温度の見直しを図ったことで使用電力削減に繋げることができた								
第二年度 (平成29年度)	排出量	2,873	t-CO ₂	削減率	4.7 %	排出原単位	1.70	t-CO ₂ /kwh	
	調整後	2,698	t-CO ₂	削減率	8.9 %		削減率	1.7 %	
目標等の達成状況及び説明	冷凍機運転制御の見直しや、冷蔵庫に車両が接車するバース周りを改修し、事務所照明をLED化したことにより使用電力削減に繋げることができた。								
第三年度 (平成30年度)	排出量	2,441	t-CO ₂	削減率	19.0 %	排出原単位	1.51	t-CO ₂ /kwh	
	調整後	2,235	t-CO ₂	削減率	24.5 %		削減率	12.7 %	
目標等の達成状況及び説明	老朽化した冷凍機の更新や倉庫内の照明をLED化したことにより電力使用量を削減								
計画期間全体の排出状況に関する説明	大規模な更新等（冷凍機・照明）は、3か年で計画的に実施								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (平成 年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (平成 年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 (平成 年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 (平成 年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 (平成 年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満	1	3,015	1	2,953	1	2,873	1	2,441
500k l 未満								
合計	1	3,015	1	2,953	1	2,873	1	2,441

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	平成 年度	ビル管理法適用外		非該当	/	—	平成 年度	ビル管理法適用外		非該当	/	—	平成 年度	ビル管理法適用外		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	平成 年度	ブラインチラー方式のため		非該当	/	—	平成 年度	ブラインチラー方式の無いため		非該当	/	—	平成 年度	ブラインチラー方式の無いため		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	平成30年度		LED化計画中	実施中	0/1	—	平成30年度		事務所 388灯 LED更新	実施済	1/1	—	平成30年度		事業所内照明 LED更新	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			実施済	1/1	—	平成 年度			
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	/	—	平成 年度	直膨式の為		非該当	/	—	平成 年度	直膨式の為		非該当	/	—	平成 年度	直膨式の為		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	/	—	平成 年度	ブラインチラー方式ではないため		非該当	/	—	平成 年度	ブラインチラー方式ではないため		非該当	/	—	平成 年度	ブラインチラー方式ではないため		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		非該当	/	—	平成 年度	該当設備なし		
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類)空冷スクリーンエアコンプレッサ 2/2	—	平成 年度			実施済	(設備の種類)空冷スクリーンエアコンプレッサ 2/2	—	平成 年度			実施済	(設備の種類)空冷スクリーンエアコンプレッサ 2/2	—	平成 年度			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)空冷スクリーンエアコンプレッサ 2/2	—	平成 年度			実施済	(設備の種類)空冷スクリーンエアコンプレッサ 2/2	—	平成 年度			実施済	(設備の種類)空冷スクリーンエアコンプレッサ 2/2	—	平成 年度			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	平成 年度			/	—	平成 年度			/	—	平成 年度			/	—	平成 年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	平成 年度			—	/	平成 年度			—	/	平成 年度			—	/	平成 年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	平成 年度			—	/	平成 年度			—	/	平成 年度			—	/	平成 年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	平成 年度			/	—	平成 年度			/	—	平成 年度			/	—	平成 年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	平成 年度			/	—	平成 年度			/	—	平成 年度			/	—	平成 年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		20.63 %		2,441		628.0		124.5		503					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (平成)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
	倉庫内LED照明化1373台	横浜南物流センター	30	照明器具1373台で試算 ※点灯時間は1日20時間とし、 昼夜それぞれ10時間とする。 ※使用料の期間は365日とする。	昼間買電	613	千kWh	314.0	照明器具1373台で試算 ※点灯時間は1日20時間とし、 昼夜それぞれ10時間とする。 ※使用料の期間は365日とする。	昼間買電	122	千kWh	62.3	503.5	45,400 千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	平成30年度	LED化1373台	503.5 (t-CO2) 削減
2		平成 年度		
3		平成 年度		
4		平成 年度		
5		平成 年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成30年度	横浜南物流センター	206	東京電力エナジパートナー
2		平成 年度			
3		平成 年度			
4		平成 年度			
5		平成 年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ■ 廃棄物排出量削減 ■ 節水対策 ■ 社有車のハイブリット化
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入100% ② フロン漏洩削減 保有量5%以内 ③ 廃棄物排出量削減、基準年度（平成27年度280 t）減
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入100%成功 ② フロン漏洩 390kg/年 保有量5990kg 6.5% ③ 廃棄物排出量 291 t/年
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入100%成功 ② フロン漏洩 620kg/年 保有量6,000kg 10.3% ③ 廃棄物排出量 305 t/年
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ① グリーン購入100%成功 ② フロン漏洩 180kg/年 保有量6260kg 2.9% ③ 廃棄物排出量 344 t/年

14 実施状況等に対する自己評価

グリーン購入は100%目標達成することができ、フロン漏洩削減については機器の更新や点検・修理の強化で大幅に減少している。
次年度以降も点検・修繕などの漏洩削減を強化し目標達成に繋げたい。
廃棄物排出量は39 t/年増加しているため、次年度以降強化し、廃棄物削減に努める。